



—東北生産性本部—

第158回理事会を開催



平成26年11月6日(木) 仙台商工会議所1階会議室に於いて、役員43名中、本人出席(代理を含む)14名、委任出席29名の中で第158回理事会を開催いたしました。

会議の冒頭、齋藤会長(議長)から以下の挨拶がありました。

『上期収支決算は、収入合計実績が当初予算2,046万円に対し420万円増の2,466万円に、支出合計実績が当初予算1,699万円に対し、109万円増の1,808万円となり、結果的には約311万円の収益増となった。』

これは今年度、皆様のご理解とご協力による賜物であるとともに、事務局では是非とも黒字にしたいとの思いから、セミナー単位での収支管理や、参加人数等を含め費用対効果を加味した対応も行ってきた。また、年度全体での予想としては、今のところ約90万円程度の黒字予想にあるものの、今後、下期の参加人数によっては、大きく振られることも予想されるため、引き続き気を引き締めて取り組んでいきたい。

今年度実施した仙台シンポジウムは、6月例会での熊谷亮丸氏(大和総研執行役員チーフエコノミスト)は、これから為替が105円、株価18,000円程度になると話され、現在、まんざらでもない動きとなっている。

8月例会での野村修也氏(中央大学法科大学院教授)は、コンプライアンスは法令遵守だけでなく、企業として損害賠償等のリスク回避を含めた広い意味合いであるとの内容であった。

9月例会での寺島実郎氏（日本総合研究所理事長）は、アベノミクスに懐疑的な慎重派で、実態経済が伴っていないと話されたほか、日本が採るべき原子力政策は軍事利用ではなく、自ら平和利用に徹した原子力技術基盤の維持・蓄積が必要と話された。

10月例会での松井忠三氏（㈱良品計画代表取締役会長）は、会社経営で大切なのは体質を変えること。そのための組織改革が必要で、長年の体質を変えるのは難しいが、それを行うことが大切と話された。

11月例会（11月7日）では、伊豆見元氏（静岡県立大学現代韓国朝鮮研究センター所長）に来ていただき、「北朝鮮情勢」をテーマに講演いただく。12月例会（12月2日）には、橋本五郎氏（読売新聞特別編集委員）に来ていただき、「どうなる日本の政治と経済」をテーマに講演いただく。

また、1月の労使交流会（1月13日）には、再び、寺島実郎氏（日本総合研究所理事長）に来ていただき講演いただくこととしている。

是非、多くの方に来ていただきたく、今後の更なるご理解とご協力をお願いしたい』と支援を呼びかけました。

本理事会での審議内容は下記のとおりです。（要旨のみ記載）

1. 第1号議案『平成26年度上半期事業報告について』について山岸専務理事より提案説明の後、第2号議案『平成26年度上半期収支決算について』を吉田常務理事から提案説明し、審議の結果、提案通り満場一致で承認されました。

■平成26年度上期決算

①収入実績 2,466万円（予算2,046万円に対し約420万円増）

②支出実績 1,808万円（予算1,699万円に対し約109万円増）

この結果、当初見込みより約311万円の収益増となりました。

2. 第3号議案『その他』について齋藤会長（議長）から、東北電力㈱の人事異動に伴う吉田秋一常務理事の退任ならびに村山宏氏の理事就任について提案説明し、審議の結果、満場一致で承認されました。なお、議長より会長として、村山新理事を常務理事に任命することについて報告されました。
3. 議事終了後、齋藤会長からその他として、各理事に対し、「2015年新年労使交流会」の参加案内がされました。

■「2015年新年労使交流会」

- ・期 日 2015年1月13日（火）15:30～講演会 17:00～賀詞交歓会
- ・会 場 江陽グランドホテル
- ・参加費 12,000円／1名につき（消費税込）
- ・講演会テーマ

「2015年 世界の構造転換と日本の進路」

～日本経済展望及び取り巻くエネルギー・環境問題への視座～

講 師 一般財団法人日本総合研究所理事長

㈱三井物産戦略研究所会長

寺 島 実 郎 氏

※参加ご希望の方は、東北生産性本部（TEL022-261-0411）までご連絡ください。